

令和4年10月17日

大藪小学校 保護者様

輪之内町立大藪小学校
校長 宇佐見 嘉之

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

晩秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、成果と課題を分析したものをもとに、今後の教育活動についてお知らせします。

◇大藪小学校の学習状況◇

※全国平均のポイントより ○優れている項目 △低い項目

【国語】

- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える。
- 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。
- 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える。
- 登場人物の相互関係について、描写を基に捉える。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像する。
- 表現の効果を考える。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く。
- △話し言葉と書き言葉との違いを理解する。
- △言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える。
- △文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。

【算数】

- 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。
- 百分率で表された割合を分数で表すことができる。
- 百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる。
- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる。
- 表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる。
- 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる。
- 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる。
- 図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している。
- 図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している。
- △示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。
- △正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。
- △示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる。

【理科】

- 自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く。
- 資料を基に、カブトムシは育ち方と主な食べ物の特徴から二次元の表のどこに当てはまるのかを選ぶ。
- 一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く。
- 水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまとめを選ぶ。
- 鏡ではね返した日光の位置が変化していることを基に、継続して同じ条件で実験を行うために、実験の方法を見直し、新たに追加した手順を書く。
- 冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ。
- 問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く。
- 夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ。
- △育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ。
- △実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ。
- △鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く。

◇質問紙調査（学習や生活環境のアンケート）◇

※全国平均のポイントより ○優れている項目 △やや低い項目

- 毎日同じ時刻に起きたり、同じ時刻に寝たりすることができている。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- 将来の夢や目標をもっている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 友達と協力するのは楽しいと思う。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- 学級の友達との間で話し合う活動では、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えている。
- △自分には、よいところがあると思う。
- △難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。

以上の事項を踏まえた考察

- ・規則正しい生活を送ったり、家庭での約束を守ったりするなど、生活習慣が安定している。
- ・学習については、「好きだ」「大切だ」「役に立つ」と感じている児童の割合が高く、意欲的に取り組んでいる。
- ・家庭学習を必ずやる習慣が付いており、毎日1時間以上家庭学習（ICT機器を活用しての家庭学習や学習塾での学習などを含む）をしている児童が7割以上である。
- ・思考力や表現力を高めるために、授業の中で仲間と対話することを繰り返し行ってきたことで、意欲的に学習に取り組んだり、仲間と考えを交流したり、話し合っ議論したりして自分の考えを深めたり、広げたりする児童が増えてきている。
- ・国語では、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること、算数では、問題を解決するために筋道立てて考え、その考え方を記述すること、理科では、実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出したり、考察したことをまとめたりすることを苦手としている子が多い。

◇学校として力を入れたいこと

- ・文章を書いたり話したりする際に、話し言葉と書き言葉を区別して記述させたり、語尾まで正しく述べさせたりする。
- ・文脈の中で漢字を書いたり読んだりする練習をする。また、辞書やタブレットを活用し、語彙を増やすようにする。
- ・技能の問題（計算問題など）は、授業の終末で多くの類似問題に取り組む時間を確保し、習熟を図っていく。
- ・考えたことを分かりやすく相手に伝えることを大切にし、ペア交流などの対話的な活動を意図的に仕組んでいく。

◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・「早寝、早起き、朝ご飯、朝トイレ」の基本的な生活習慣づくりをする。
- ・テレビやゲーム、インターネット等に関わる家族の約束や、町の情報モラル宣言を守る。
- ・学習時間の確保と学習の見届け（ノートの点検、励ましの声かけ、家庭学習パワーアップ週間の励ましなど）をする。
- ・読書（学年相応の本）をしたり、新聞を読んだりして、文章を読む機会を増やす。